



# グローバルセンターだより

## Glocal Center

8月5日（土）、大学の地域貢献と情報発信を目的とし、「鳥取看護大学・鳥取短期大学踊り子連」として倉吉打吹まつりの伝統「みつぼし踊り大会」に出場しました。4年ぶりの参加となった今回は、両大学の教職員を中心に総勢24名で踊り子連を編成し、当日は沿道の方々よりたくさんのご声援をいただきながら、全員で踊りを楽しみました。

今後も「地域とともに！」をモットーに、地域の活性化に向けた活動に積極的に取り組んでいきます。



### ◆石谷精華堂さんより打吹公園だんごをいただきました！



6月16日（金）、倉吉市の石谷精華堂さんより、両大学の学生へ打吹公園だんご100本が贈られました。この企画は「6月16日は和菓子の日」にちなんで、地元の学生に倉吉銘菓を味わってほしいと計画されたもので、石谷精華堂さんのご厚意により初めて実現しました。

学生からは「見た目がかわいく、味もおいしい！」「帰省するときのお土産にしたい！」などの感想が寄せられ、とても嬉しそうに受けとっていました。石谷精華堂さん、ありがとうございました！

### JA鳥取中央プレゼンツ！3年ぶりに「スイカの試食会」を開催！

県中部で栽培が盛んな鳥取スイカを若い人たちに知ってもらおうと、6月21日（水）、本学にて、JA鳥取中央主催の「スイカの試食会」が行なわれました。当日は、おいしく食べるための切り方の秘訣や種類の違いなどもうかがいながら、生産者のみなさんが実際に学生、園児、教職員の目の前で切り分けてくださったものを味わい、暑い季節にむけてしっかりと充電しました。

また、今回は、鳥取県の名産品である“スイカ”のPR、消費拡大に活用いただくため、在学生対象のポスターコンペも開催し、試食会当日には最優秀賞（はじけるスイカパワー：鳥取短期大学 生活学科住居・デザイン専攻 2年 笹尾咲来さん）と優秀賞（夏の「彩り」が詰まっています。：同 福本雄介さん）の発表および表彰式も行われました。

新型コロナウイルス感染症による行動制限も緩和され始め、学生たちが地域と繋がる機会も増えてきています。今回の企画も、またひとつ鳥取の恵みのすばらしさを体感するよい機会となりました。

JA鳥取中央および生産者のみなさま、貴重な機会をありがとうございました！



### 大山町ではじめての「まちの保健室」開催



今年度「まちの保健室」は、希望件数増に加え、はじめての地域から依頼を受けるケースも増えています。

長かった梅雨が明け、すっきりときれいに晴れた7月21日（金）、「大山町保健福祉センターなわ」において、「ことぶき学級」の皆さまを対象に「まちの保健室」を開催しました。この日は43名の参加があり、教員3名、まめんなかえ師範4名と町内の保健師さんも一緒になって、骨密度などの計測や健康相談を実施しました。「ミニ講話」では「眠りのおはなし」と題し、概日リズムや不眠が身体に与える影響、自然な眠りにつくためのコツなどをお話ししました。参加者も多く、とても和やかに笑顔あふれる時間となりました。

鳥取看護大学では、今後も地域の皆さんの健康生活に貢献できる活動を続けていきたいと考えています。





## とっとりプラットフォーム5+α ～地域の教育機関・団体等と一緒に～

### 「とっとりプラットフォーム5+α」共同研究事業報告会を開催しました

6月27日(火)、「とっとりプラットフォーム5+α」共同研究事業報告会を、会場とWEB配信のハイブリッド形式で開催しました。今回は、「少子化対策」「リスクマネジメント体制」「女性雇用」の3つの社会的課題の解決に向け、行政や構成団体の皆様に実践的な研究成果をフィードバックしました。

- 1 「自然を活かした保育による幼児の身体的発達に関する調査研究」  
鳥取短期大学 幼児教育保育学科 近藤剛教授
- 2 「鳥取県の孤立の可能性ある集落における地域防災力向上のための支援プログラムの構築」  
鳥取大学大学院 工学研究科 浅井秀子准教授
- 3 「乳児期親子の関係性構築に関する育児支援体制強化の検討  
～看護職と保育士の乳幼児精神保健の認識比較から～」  
鳥取短期大学 幼児教育保育学科 山村裕子助教



### 共同FD・SD研修会を開催しました

9月4日(月)、「とっとりプラットフォーム5+α」に参画している団体が連携・協力して共同FD・SD研修会を開催しました。今年度は、現在注目を浴びている生成AIをテーマに取り上げ、「ChatGPTの活用方法～教育現場、一般職場での活用に向けて～」と題し、株式会社ジェイエス・ロボティクス 代表取締役 佐藤仁氏にご講演いただきました。また、講演会の後には、佐藤氏と本学教員2名によるトークセッションも行いました。

参加者からは、「教育・研究において、生成AIの活用方法を考えるヒントをいただけた」「実演がとてもわかりやすかった」「ChatGPTをうまく活用し今後の業務効率化を図りたい」などの感想が寄せられました。

今後も地域のさらなる発展をめざして、有意義な情報を提供できる研修会の運営に努めていきます。

### 竹中大工道具館に行ってきました！～美術館フィールド活用支援事業～

とっとりプラットフォーム5+αで取り組んでいる「鳥取県立美術館フィールドを活用した建築人材育成支援事業」の一つとして、建築を学ぶ学生による関連施設の現場研修を行なっています。

9月13日(水)には、鳥取県立美術館の施工者である竹中工務店が運営する竹中大工道具館に鳥取大学、公立鳥取環境大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校(米子工業高専)の学生・教職員19名で訪問しました。館内見学時には丁寧な解説をしていただき、学生たちは熱心に見学していました。10月にも県外の現場研修を予定しており、高等教育機関が連携して学びを深めています！



### ～鳥取短期大学生生活学科食物栄養専攻×マルイ 共同開発！～

#### 食育バランス弁当

「はっこう&食物せんい 美食箱bishokubako」発売中！



「地域に健康とおいしさを届ける」「食育を通じた活性化」を目的に、共同開発しているお弁当の第三弾「美食箱」が現在、鳥取県、島根県、岡山県のマルイ全店で販売されています。

今回のテーマは「腸活」。腸内環境を整えるための食物繊維が豊富な食材(ひじき、紫黒米、胚芽米、おから、根菜、紫キャベツなど)と発酵食品(味噌、ヨーグルト、塩麴、甘酒)を掛け合わせた弁当に仕上がっています。

学生たちの想いが詰まったお弁当は今後も開発予定です。見かけられたら、ぜひご賞味ください！

### ようこそ ようこそ ～大学見学会～

大学見学会にお越しいただきました

本学では、地域の皆さまからの要望に応じた大学見学会を随時開催しています。6月24日(土)には大山町女性団体連絡協議会、8月31日(木)には南部町ことぶき大学、9月11日(月)には上北条地区民生児童委員協議会の皆さまが来学され、健康に関するミニ講話を聴講し、大学構内を見学されました。

見学後には「体温の奥深さがわかった」「人との交流や運動を頑張りたい」「いつでもどこでも生じる事例についてわかりやすく教えていただいた」などの感想が寄せられました。



《発行》 鳥取看護大学・鳥取短期大学グローバルセンター 〒682-8555 鳥取県倉吉市福庭854  
TEL : 0858-27-0107 FAX : 0858-26-9138 E-mail : glocal@cygnus.ac.jp